

スターリンク導入を

答 調査研究していく



石垣 大志 議員

問 災害時等の通信手段の確保策として、スターリンクの導入検討ができないか。

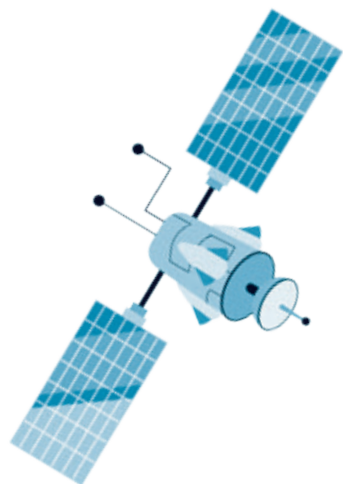
スターリンクの使用条件は、

①電源の確保

②空が見えること

この2点の確保で災害等により通信インフラが破壊された状況であっても、インターネットサービスが活用できる。

総務課長 スターリンクは、通信衛星による衛星通信網のことで、海上や山奥、離島など、ネットワーク環境が無い箇所でもネットが使えるメリットがある。
導入については調査研究をしていく。



問 災害時においては、通信手段の確保が果たす役割は非常に大きいものがあると感じている。

平成23年度版の総務省情報通信白書の中で、震災時に情報通信が果たした役割について記載がある。

その中で、災害において情報通信の果たすべき役割は大きく、平成7年1月17日に発生した阪神・淡路大震災においては、電話などの通信手段や交通機関が途絶し、ドーナツのように被災地中心部の情報は空白になった。

2011年3月11日に発生した東日本大震災の際は、通信インフラに対する被害も甚大であったため、震災直後は情報伝達の空白地域が広範囲で発生した。

また安否確認や被災者支援にはSNSが使われるなど、震災直後からインターネットを活用した様々な情報発信が行われ、ボランティアなどの後方支援を行う取り組みなど

も行われたと報告がされている。

これらの東日本大震災の際の情報通信の状況、教訓等を考慮すると、スターリンクのような衛星インターネットサービスは、やはり災害時等の不測の事態においては非常に有効であると考えているが改めて見解を伺いたい。

総務課長 不測の事態に備えた対応として有効なものと考える。

調査研究をし、対応に努めていく。



— こんな質問もしました

• 宮平川の氾濫対策について問う